



函館市議会議員 無所属 荒木あけみ ニュースレター

第 15-16 合併号 / 2019 年 1 月 18 日 / 発行責任者 荒木明美

荒木あけみ、2019 年 残りの任期も猪突猛進します！

荒木あけみ、函館市議会議員 1 期目の任期（今年の 5 月 1 日まで）が、あと約 3 カ月半となりました。一つ一つ学び、考えながらコツコツ活動してきましたが、あっという間の 4 年でした。

新年のご挨拶ができませんことご理解くださいませ。毎年 1 月のニュースレターに書いており、公職選挙法により**議員は年賀状、寒中見舞等の挨拶状が禁じられています**。但し、頂戴した年賀状に自筆で答礼することは禁じられておりませんので、一枚ずつ送らせていただきます。

昨年は、年 4 回の市議会定例会中、9 月議会の会期が短縮され一般質問を行わずに閉会となりました。胆振東部地震による市内全域での停電対応に配慮というのが理由です。近隣市町や道議会では延期等で対応されました。函館市では、議案に対しては委員会質疑の機会がなくすぐ採決となり、議会に諮る意味を考えた一件となりました。また、一般質問の機会を一回失ったことで 9 月に扱う予定だった質問を先送りすることになったのは残念でした。一方、議員活動の報告と皆様からお話を伺う「**荒木あけみと語る会**」は年初の函館アリーナ以外に、**10 か所の町会館・集会所で実施**しました。チラシをみて初めて参加された方、お話しくださる方もいて地道な活動の中に成果を感じました。



荒木あけみと語る会 八幡町会館

残された任期の約 3 カ月半、市議としての活動を積み重ねて参りますが、函館市が“生き残る街”になるよう皆様と一緒に考えてまいります。ご意見、ご指導、ご支援を今後共よろしく願いいたします。

ヘアードネーションと献血

昨年 4 月、荒木あけみはヘアードネーションを行いました(写真)。これは「がんや先天性の脱毛症、不慮の事故などで頭髪を失った子どものために、寄付された髪の毛でウィッグを作り無償提供する活動」です。31cm まで伸びたら提供可能なのでしばらく伸ばしていました。約 30 人分の毛髪でウィッグが 1 つ作れるようで、一人あたり平均 30～60g のところ私は 205g とれました。このヘアードネーション、2 年前に長女が行ったのを見て私も挑戦したのですが、やってみると周りにも「以前やったことがある」「これからやってみたい」等という声が聞かれました。「ウィッグを待っている人数」は 4 月時点では 230 人でしたが、今日 NPO 法人のホームページでは 200 人に減っていました。

また、昨年は献血を呼びかける機会があり血液センターへ行きましたが、検査の結果、要治療(貧血)でした。通院で貧血が改善すると、それまでの疲れやすさや朝の目覚めの悪さが嘘のようでした。女性に多い貧血、未治療の方は治療をお勧めします。



荒木あけみ 2018 年一般質問 (3、6、12月 12~14回目)

2018年の市議会定例会一般質問3回について、以下に一問ずつ挙げました（9月議会はP1に書いたとおり一般質問なしで閉会）。質問の詳細は、検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。

3/15 函館の子どもたちの今と未来（未就学児その保護者向けの施策）

荒木：国語、算数、理科、社会といった認知能力(学力)に対し、非認知能力は意欲、自制心、やり抜く力、社会性等を指す。非認知能力は乳幼児期に身につく、成人しからの生活に差が生じるといわれる。子ども達の非認知的能力を育む、高める市の事業は行われているか、今後どんな取り組みを考えているか。



荒木の視点⇒世帯別経済状況では、高校進学率に大差ないが中退率に大差あり。

「自立」には、中学、高校の入学以上に卒業することが大切。学力の前に、意欲、やり抜く力といった非認知能力を高めることが子ども達の将来の自立につながる。

子ども未来部：子どもの非認知能力は、家庭、幼稚園等の施設や地域社会、環境全体の中で育まれる。乳幼児期から非認知能力を育む重要性を踏まえ、市内の保育士対象の研修会を開催し、教育・保育の実践に生かされている。非認知能力を高めるためには、子どもに愛情をもった関わりがなされ、自分が守られている感覚や他者への信頼感が芽生えることが基本。子育ての孤立化を防ぎ、親のメンタルヘルスを支えながら、親子の愛着関係を強化し、子育てに関するスキルを身につけられるよう子育てサロン等の子育て支援事業、国が定める指針等に則して質の高い教育・保育が行われるよう各施設への指導・監査や研修機会を通じて保育士の資質向上に努める。

6/13 防災の現状と今後の対策

荒木：今年3月に函館市地域防災計画が改定、同3月に業務継続計画(BCP)が策定、6月は避難所運営マニュアルが改訂された。これらの計画を作る大前提として、地域防災計画、BCPの中で「活断層を震源とする内陸直下型地震M6.6」が「冬の午後6時」に発生する想定だが、その根拠は。



荒木の視点⇒防災計画の根拠となる災害想定が函館市の状況に適切な設定になっているのか。冬の深夜が最も被害が大きいのではないか。

総務部：計画において想定している地震は、過去の活断層等の調査により、本市に最も大きな被害を及ぼすと考えられる函館平野西縁断層帯を震源とするM6.6の内陸直下型地震とした。地震発生時刻は、一日を通じて最も火気の使用が多くなる夕方6時とし、北海道の地域特性を考慮し、夏季に比べ冬季は火災による被災者や避難者数が多く予想される冬の午後6時と想定した。

12/17 函館マラソンの課題と今後

荒木：全国の市民マラソンには、フル、ハーフの他に短距離コースがある大会も多く、ランニング人口の裾野を広げるためビギナー層向けの短いコースを設定することは有効と感じる。函館マラソンで10kmコースを設定してはどうか。また、函館マラソンの差別化・独自性を高める・付加価値向上のため、現状より観光地を多く回るコースに変更することはどうか。



荒木の視点⇒函館マラソンの参加者増加策としての提案。答弁の「現時点では難しい」「当面は」という言い回しから、今後の検討を期待する。

教育委員会：新たに10kmコースを設定した場合、市街地の交通規制時間が現在より延長となる等市民生活への影響が懸念され、競技面も走路を更に細分化する必要がある等課題も大きいことから、現時点では難しい。平成24年、実行委員会内にフルマラソン検討部会が組織され、関係機関との協議を重ねる中で、産業道路はまたがない、国道5号は使用しないという方向性が示されコース設定に大変苦慮した。現在のコースは日本陸連や国際陸連公認を得ており、当面は現在のコースで大会続けて参りたい。

荒木あけみ この4年をふりかえって

この4年の間に、議会質問したことが実際に行われたり、改善されることがありました。今回はそのうちのひとつを取り上げてご紹介します。「**学校の不要備品等無償譲渡会**」です。

背景：市立小中学校の学校統廃合が進む中、廃校となる学校には多くの備品が残ったまま。一部は統合される学校や他校で使われるとしても、**多くのものがそのまま廃棄処分**となる。それは、**大変もったいない**。資源の有効活用、また卒業生の思い出の品の共有のため、市民向け譲渡会ができないか。

議会質問：学校備品の市民譲渡について（提案から実施まで）

平成27年12月定例会 譲渡会実施可否への見解を質問。他都市の事例等、調査研究するという答弁。

平成29年6月定例会 調査研究結果を質問。

平成30年2月定例会 具体的な実施スケジュール、運用方法。

実施概要：

時期 平成30年7～8月。8回実施（4校×2回(団体向け、個人向け)）。

実施校 閉校となった中学校4校（光成中、宇賀の浦中、西中、凌雲中）

対象者 ①町会等の市内の公共又は公益を目的とする団体 ②各校の卒業生等の学校関係者の個人

参加数 もと光成中15団体44人、もと宇賀の浦中15団体57人、もと西中4団体54人 もと凌雲中6団体29人、合計40団体184人。

譲渡品 写真に挙げたものの他に、ボールや部活のユニフォーム、梯子、畳、演台につく大きな校章など。

譲渡数 食器類やパイプ椅子等は基本5個1組。団体は10個又は10組まで、個人は5個又は5組まで。



荒木は、4校すべての譲渡会を見学し、団体や個人の方へお話を伺ったり、写真を撮らせてもらいました。それぞれの用途に意味や思いがあり、感動話もありました。



今後の展開：

平成30年12月定例会 実施した結果と今後の課題。

今回実施した4校では、譲渡会後にも物品等が残っていたこと、市の福祉・教育に携わる活動をしていても対象から外れたことで参加できなかった団体もありました。来年には閉校となる小学校での譲渡会実施が見込まれています。今回の課題を受けて、譲渡方法や上限数緩和、対象団体の緩和を教育委員会に検討してもらおうと要望しました。



未来へつなぐ荒木あけみネット掲載写真より ~Facebook ページ~

荒木あけみと語る会
(議員活動報告会)
函館アリーナ (1/27)



民生常任委員会行政視察(松戸市(左)・目黒区(右)) (5/14-16)



函館マラソン ハーフコース参加
初マラソンで、21km 完走 (7/1)



『みんなの学校』上映会
地域交流まちづくりセンター
(8/26)



港まつり、夜祭り in グリーンプラザ (8月)



A I に関する研修 (7/12)



『樋渡啓祐講演会』
遺愛学院講堂 (10/13)



厚真町訪問(胆振東部地震被害状況の把握)(11/27)



市民活動で台湾の原住民族
委員会表敬訪問 (11/9)

2月から未来へつなぐ荒木あけみネット事務所が開所します(当面平日10~17時)
お近くお越しの際は、お立ち寄りください👉 函館市松風町9-14 安田ビル1F
※大門のグリーンプラザ、安田歯科医院のビル。カフェくあふおり(元フタバヤ)の隣。

ニュースレターの感想、市政へのご意見などお聞かせください!

郵送の方は → 〒040-0035 函館市松風町 17-10 未来へつなぐ荒木あけみネット

FAXの方は → 0138 (76) 3321 メールの方は → araki.akemi@gmail.com

荒木あけみホームページ : <http://www.arakiakemi.jp/>

未来へつなぐ荒木あけみネット Facebook ページ : <https://www.facebook.com/ARAKIAKEMInet>